

2016年はリオデジャネイロ五輪・パラリンピックの年です。2020年開催の東京五輪につながる大会としても若手の活躍が楽しみな年でもあります。本年もどうぞ宜しくお願いいたします。

「進路選択」の難しさ

昨年、上山市で著名な作家の講演を聴く機会がありました。終了後、参加者から講師の息子さんの進路について質問があり、T氏は次のように答えていました。「考えていた学校のカリキュラムはとてもきちんと組まれていて、その流れに乗れないと息子は落ちこぼれてしまうのではないかと思われた。先生方も忙しそうに、寄り添ってもらうことも難しいように感じた。さらに、身体が弱いことも気がかりで、私はその学校での学習は厳しいと判断した。そこで、“試験がない”“クラスもない”という学校を選択した。」と。そして、T氏は付け加えた。「この進路選択がいいかどうかは分からない。いい結果となるかも分からない。ただ、父親がよかれと考えて選んだとういことは、息子に分かってもらいたいと思う。」と。



講演の語り口から自由気ままに生きているような印象のT氏でも、子どもさんの進路についての悩みや心配事は私たちと同じだったのです。

『進路選択』の難しさは、その進路が自分に合っているかどうかなんて実際に進んでみなければ分からないことにあります。人それぞれが自分自身の人生を振り返ってみても感じることで、今の自分を考えても「この路でいいのか？」と思うことは大人でもあることです。

また、どんなに周りの大人が「この路はいいよ」などといっても、結局はその道を歩いていくのは子ども自身です。大事なことは「自分の存在が光って見えるような生き方」「自分が誇りを持って生きられるような生き方ができるように応援してやること」なのでしょう。

私事で随分昔のことですが、ある親御さんが子どもを自分の思い通りに育てようとして、子どもと意見が合わず、1月下旬まで志望校を決められずに悩んでいた生徒のことを思い出します。

「受験はやはり団体戦で乗り切りたい」～シャイニングクラスの様子～

年の瀬、両手で顔を覆いながらほんとに年が改まらないでほしい、と言っていた3年生の仕草が目についています。あの時は、カウントダウンが進み刻々と近づいてくる入試をどう受け止め、どうこなしていったらいいのか、息苦しさでつぶされそうな心境だったのでしょうか。そんな通級生たちが、心穏やかに新年を迎えるだろうか、と気がかりでした。

さて年明け初回のシャイニングクラス、その前日から2日間に亘って予定されていた実力テスト受験のため登校を選択。日程がずれていた他校の通級生もなんと学校の自分の教室に足を運びきっちり受けて来た、と話を聞くことができました。結果はともあれまず逃げずにクリアできたということで、彼らの精神的な成長を実感することができました。そのせいでしょうかその週末は、みんな清々しい顔が揃ったところで本格的に教室を再開することができ、ほっとしたところです。



手際よいお菓子づくり (12/17)

最近はどうも、3年生担当の教科担当の先生方も、教科のまとめや受験を意識しての解法テクニック、過去問を扱っての時間配分や傾向分析等、受験どっぷりの雰囲気になりました。中には不安が大きく焦りの毎日であると、吐露する生徒もいます。

当クラスの3年生は数人ながら、「受験は団体戦の意識で乗り切ってほしい」と願っています。そこでは自分の素直な気持ちも臆せず出して、また、

弱い自分を認めて。周囲にも共感してもらって、1人では出せない力を仲間から少しでも得られたら・・・。

あと数週間後3年生はさらに成長してこのクラスを巣立っていくことを願っています。



テーブルに並んだお菓子

「生きる力を実感する体験活動」

12月17日、生徒達がとても楽しみにしていた「おいしいお菓子づくり」で“もちもちウィンナー” “ミニミニ中華まん” “マフィン (カップケーキ)” を5人で作り、みんなで美味しくいただきました。お菓子作りが得意な3年生2人が力を合わせて作った「マフィン」は、甘いものは苦手という仲間も「美味しい、家に持っていきたい」というほどの出来栄でした。後日、2人はクリスマスケーキも作ったとのこと、買出しも自分たちでしたことを考えると驚きです。「ミニミニ中華まん」は2年生が中心につくり、「もちもちウィンナー」は、ホットプレートをみんなで囲んでわいわい言いながら作りました。3品ともみんなの手がびっくりするほどよく伸びたのは言うまでもありません。

1月7日は新年にあたり、「一文字色紙」で、今年の決意を色紙にしたためました。友情・愛情・つながりを大事にし、強めたい、感謝したいという思いを込めた「情」。高校に入学し、新しい気持ちで過ごしたいという思いを込めた「新」。少しずつでも将来を意識して進もうという思いを込めた「進」等、取り組んでいる子どもたちの真剣な態度や完成した作品は堂々とした魅力のある文字でした。

体験活動はいろいろな準備も含めて、座学中心の教科学習とは違った面が見られるのも特徴で、特に、食を伴う調理実習の様子を見ていると、包丁の使い方や後片付けの際の洗剤の使い方にドキッとさせられることもあります。狭い意味での学力向上が中心で、台所に立つような家庭での生活体験の乏しさを感じます。

楽しく調理し、食べることは、私たちがいきいきと生きる大きな要素の一つであることに改めて気づかされます。今年もとても楽しみです。



正しい姿勢、美しい筆の持ち方で、一人ひとりが「一文字色紙」を書きました。(1/7)

12・1月の活動 シャイニングクラス在籍 7名

< シャイニングクラスの学習 >

- 月曜日 理科、国語 ○ 水曜日 社会、英語
- 金曜日 数学、体育 ○ 木曜日 体験活動 (月2回)

- ◆ 体験活動⑰ 12月17日 (木)
「おいしいお菓子づくり」
“もちもちウィンナー” “ミニミニ中華まん” “マフィン”
- ◆ 体験活動⑱ 1月7日 (木)
「一文字色紙」 ～ 今年の決意を色紙に表す ～
- ◆ 体験活動⑲ 1月21日 (木)
「絵手紙づくり」 ～ 寒中見舞いを届ける ～
- ◆ 「気楽に話し合う会」 12月18日 (金)
初参加の方を含め、3名のお母さん方の参加をいただきました。

あとがき

ひきこもりや不登校生徒が社会とのつながりに乏しいかという然(さ)に非ず。身近な話として、「全く会ったことがない同年代の若者がネット上で人間関係をつくり、関東から来た若者を自宅に泊めて人気アイドルグループのコンサートに行ったんですよ」という話には驚かされました。携帯もパソコンもスマホもなかった昭和に育った私など到底できないかわり方です。ただ、何か目立った言動をするとネット上で攻撃されたり、うわさがSNSで広がるという不安を抱えているのが現代の若者の実態のようです。

教育相談連絡先

- ダイアルなんでも相談
TEL 23-7266
- 適応指導教室 (シャイニング)
TEL 22-2111
(内線 445、448)
林、小野、鈴木が担当です。